

2023年10月10日  
オリックス不動産株式会社

## 100%再エネ由来電力で賄う環境配慮型物流施設 「京田辺ロジスティクスセンター」完成 ～立地と環境配慮仕様が評価され満床にて竣工～

オリックス不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：深谷 敏成）は、このたび、京都府京田辺市の物流施設「京田辺ロジスティクスセンター」が完成しましたのでお知らせします。本物件は、総合物流企業の株式会社バンテック（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：西澤 正昭）が、特定荷主専用の商品供給拠点として一棟利用することが決定しております。



「京田辺ロジスティクスセンター」外観

本物件は、京奈和自動車道「田辺西インターチェンジ（IC）」から約0.6km、第二京阪道路「枚方東インターチェンジ（IC）」から約3.9kmに位置します。2027年度には、新名神高速道路の全線開通が予定されており、関西エリアの広域配送だけでなく東日本と西日本の結末点としてさらなる交通利便性の向上が期待できます。

建物は、地上3階建て、延べ床面積は約6,054.7坪（20,015.54㎡）、1階には最大19台が同時接車できるバース※1を備えます。屋上に太陽光発電設備を設置し、天候の影響や夜間などで発電量が不足する場合はオリックス株式会社より非化石証書付き（トラッキング付き）の電力を供給することで、100%再生可能エネルギー由来の電力を提供します。

また、建物はCASBEE※2（新築）Aランクを取得しました。さらに災害などの停電時にも24時間稼働が可能な非常用発電機を設置し、事業継続計画（BCP）を備えます。

オリックスグループは、東名阪を中心に49物件の物流施設の投資開発実績を有します。今後も、進化するサプライチェーン戦略や、環境に配慮した物流施設の開発を目指してまいります。

※1 トラックと施設の間で荷物の積み降ろしをするためにトラックを接車するスペース

※2 省エネや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境面の配慮や、室内の快適性や景観への配慮など、建築物の品質を総合的に評価するシステム

以上

<報道関係者からのお問い合わせ先>  
オリックス株式会社 グループ広報・渉外部  
TEL：03-3435-3167

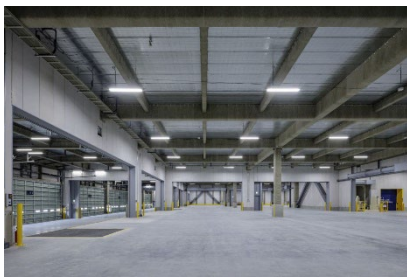
## ■京田辺ロジスティクスセンターの特長

### ①関西エリアの広域配送が可能かつ、東日本と西日本の結末点となる立地

京奈和自動車道「田辺西 IC」から約 0.6km、第二京阪道路「枚方東 IC」から約 3.9km に位置します。また、2027 年度には、名古屋と神戸をつなぐ新名神高速道路の全線開通が予定されており、新名神を軸とした新たな広域物流ネットワークが構築され、さらなる交通便利性の向上が期待されています。

### ②荷物の効率的な保管・運用が可能な仕様

1 階に最大 19 台 (10t 車、一部 4t 車) が同時接車できるバースを構え、梁下有効高は約 5.5 メートルを確保し、荷物用エレベーターを 2 基・垂直搬送機を 2 基実装しました。



倉庫内



荷物用エレベーターと垂直搬送機

### ③安心の事業継続計画 (BCP) を備えた物流施設

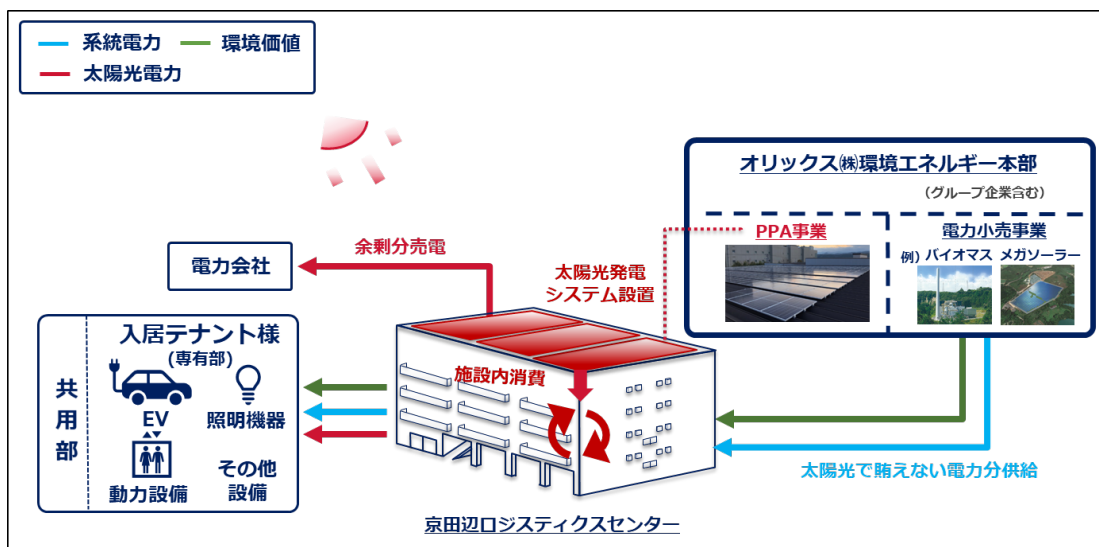
事業継続計画 (BCP) として、24 時間稼働想定 of 非常用発電機を設置しました。これにより、災害などに伴う停電時にも荷物用エレベーターや照明などの使用が可能となり、物流機能を 24 時間継続できるようになります。また敷地内には防災備蓄倉庫を構え、ヘルメットや防水シート、懐中電灯、簡易トイレなどを備蓄し、災害時に備えています。

### ④100%再生可能エネルギー由来の電力を供給するなど環境に配慮した物流施設

施設の屋根に第三者所有モデル (以下「PPA モデル」)<sup>※3</sup> で 512.64kW の太陽光発電システムを設置し、発電した電力は施設内で利用することが可能です。また夜間や天候の影響により、太陽光で発電した電力では供給量が不足する場合にも、オリックス株式会社より非化石証書付き (トラッキング付き) の電力を供給することで、入居テナント企業は使用電力の 100%を再生可能エネルギー由来の電力として利用できます。また、駐車場に電気自動車 (EV) 充電スタンド 2 基を設置するなど、積極的に環境配慮に取り組んでいます。

※3 第三者が電力需要家の敷地や屋根などを借り受けて太陽光発電システムを設置し、発電した電力を需要家に供給する事業モデル

<スキーム図>





## ⑤満床で竣工、株式会社バンテックによる一棟利用が決定

総合物流企業の株式会社バンテックが、特定荷主専用の関西エリアを中心とした商品供給拠点として一棟利用することが決定しています。本物件の立地の良さや、太陽光発電設備などの環境に配慮した倉庫設計やBCP対応が充実している点が評価されました。

## ■「京田辺ロジスティクスセンター」施設概要

名称：京田辺ロジスティクスセンター

所在地：京都府京田辺市甘南備台2丁目14番8号（田辺西工業団地区内）

交通手段：京奈和自動車「田辺西IC」から約0.6km

第二京阪道路「枚方東IC」から約3.9km

JR学研都市線「京田辺駅」から約2.9km

敷地面積：12,479.90 m<sup>2</sup>（約3,775.16坪）

延床面積：20,015.54 m<sup>2</sup>（約6,054.7坪）

規模・構造：地上3階建て、S造

駐車場台数：普通車44台、大型トラック待機場10台

その他：トラックバース19台（17台：10t車、2台：4t車）、

床荷重1.5t/m<sup>2</sup>、梁下有効高：5.5m以上

全館LED完備、非常用発電機完備、太陽光発電設備実装、

電気自動車（EV）充電スタンド2基設置

設計：西松建設株式会社

施工：西松建設株式会社

着工：2022年8月1日

竣工：2023年9月29日

## 【位置図】

